



窪 壮一朗さん (39)

# 縁人 VOL.45

南さつま  
MINAMISATSUMA ENGINE

「地域の皆さんに良くしていただ  
いて本当に嬉しい、いつもありが  
とうございます」

約10年前、東京から父親のふる  
さである大浦町の久保集落に家  
族と共に移住し、現在は農家とし  
て暮らす窪さんは、感謝の気持ち  
でいっぱいと話します。

窪さんは、元々、農業をしよう  
と移住してきたわけではなく、地  
域住民である先輩農家からの勧め  
もあり、指導を受けながらポンカ  
ン栽培を始めたことが、農家に  
なったきっかけだったそうです。  
現在では、かごしまブランドに指  
定されている、加世田のかぼちゃ  
を育てるほか、ポンカン・米など  
を無農薬・無化学肥料で栽培して  
います。フレーバー紅茶のひとつ  
「アールグレイ」の香りとしても有  
名なベルガモットなど地域内では珍  
しい柑橘も栽培しており、奥様と共  
に収穫した果実や地元の商品を使っ  
たコンフィチュールやシロップと  
いった加工品を製造するなど、様々  
なことにも挑戦しています。  
また、小さい頃から本のある生  
活が好きだったという窪さんは、



手作り加工品も販売中

本と触れ合う機会・場所を増や  
したいと、加世田唐仁原にある石蔵  
(株)丁子屋) を利用し、4年前か  
ら毎月1回「石蔵ブックカフェ」  
を開催、さらには、本を買える店  
がない大浦町に、コーヒーを飲み  
ながら本や映画など文化的な話が  
できる場所があったらいいなとい  
う思いから、空き家を利用した「b  
ooks & cafe そらまじ」  
をオープンさせました。

このオープンに際しては、本寄  
贈の申し出や寄付のほか、老人クラ  
ブの皆さんが資金を出し合って店舗  
前の道路に花を植えていただいたり  
と、たくさんの温かい支援があり本  
当にありがたかったと言います。

本との出会いから繋がる新しい  
世界と、地域から愛され  
る窪さんの人柄に触れて  
みませんか？



南薩の田舎暮らし HP

南さつま市に住む人、働く人、生き生きと活動している人を、南さつま市の輝く原動力（エンジン）としてご紹介します。